

2022.11

42

あき号

ブランコ

の

うさぎ

とやまがら

シコン



【今回の表紙】

京丹後市峰山町にある「かさい食堂」ではみんなのお口にやさしいやわらかメニューを提供されています。今年の5月に起業された笑顔の食卓相談室「Seat table」代表の言語聴覚士笠井さんが関わっておられ、障害があってもなくても、歳をとっても最期まで、笑顔で食卓を囲める地域社会の実現に向けて活動をされています。

【開催報告】

令和4年度 第1回 事例検討会  
「認知症の方にリハビリテーション専門職は  
どんな支援ができる？」

令和4年度医療職派遣事業学習会

LINE 公式アカウント

友だち  
募集中

@513gckqy

主催研修会情報、  
活動紹介等の最新情報  
を発信します

丹後圏域地域リハ支援センター公式LINE



## 令和4年度 第1回 事例検討会 「認知症の方にリハビリテーション専門職は どんな支援ができる？」

日時：令和4年10月20日（木）13：30～16：00  
会場：各所属先（Web開催） 参加者：39名

### 実践報告「認知症のある方への支援」

認知症介護者には余裕があることが大切  
子育て上手は認知症介護上手

#### 認知症の方を支援するポイント

- 本人の良い面を引出し、家族に伝えていくこと
- 生活リズムを整える  
（食事・排泄・睡眠・適度な運動等）
- 必要に応じて薬を飲む
- 家族へ認知症理解を進める声掛け
- 家族が頑張りすぎないようにいろんな方の介入を受け入れていただけるよう伝えていく
- 地域住民への認知症への理解を進める声掛け等



山中 純子 氏  
京丹後市立弥栄病院  
訪問リハビリテーション事業所  
作業療法士

#### リハ職ができること

- 認知機能面の評価
- 活動・参加面への影響
- 環境調整時の注意点の情報提供
- 認知症への理解を進める声掛け  
（家族指導含む）
- 認知症の方へは家族の思いを伝える
- 訪問中に認知症についての話が出たら、  
対応の仕方について伝えていく  
（認知症理解に向けての地道な活動）

### 実践報告「認知症対応型通所介護施設はなまるデイサービスにおける 認知症の方への支援」



堀之内 寛子 氏  
特定非営利活動法人やさか福祉村  
はなまるデイサービス  
管理者

認知症の人だから…、  
どうせ分かっていないだろうから…、  
どうせ出来ないだろうから…と、  
利用者様を決めつけるのではなく、  
1人の普通の高齢者、  
1人の普通の人間として、  
相手に思いやりを持って接すること、  
そして利用者様のことを知り、  
利用者様と、家族様との、  
良い関係を作っていくことを大切にしています。

#### はなまるの考える「リハビリ」

- 「楽しい!」「嬉しい!」「美しい!」「凄い!」  
感情が伴うことで
- 心から思えることが、言葉となる。
  - 心から思えることが、行動となる。



### 情報交換での主な意見

- ・ 対象者に福祉用具を導入した際に「たちあっぷの敷板」と床面の色に違いを「濡れているから・・・」と避けて通っていたとのエピソードから**認知症の方の世界（見え方）に新鮮な驚きを感じた。**
- ・ 専門職としては、認知症の方の思いを受け止めることが大切であるとわかっていても、**家族の立場となると葛藤が強く、「子育て上手は、認知症上手」の言葉は心に響いた。**
- ・ リハ職に求めること・・・生活の中でのアドバイス、**家族が生活する中で具体的なアドバイスをもらえると嬉しい。**
- ・ 認知症に対しての理解（本人・家族・周囲の人など）を正しく理解してもらえていないと感じることがある→行政としても、啓蒙活動に努めているが認知症の予防のための講座だけでなく**理解を深める講座を考えていくことも必要だ**と考えている
- ・ **免許の返納も大きな課題。**見逃さない対応や返納に繋がる工夫や対応が必要。

### 全体を通しての感想（研修会アンケート）

- ・ 認知症の方への関わりを具体的に知ることができ、そして素晴らしい関わりをされていることに感銘を受けました。**他職種で認知症の方への関わりについて話をできることは貴重であり、刺激にもなりました。**お顔を合わせましたし、お互いの距離が少し近くなったように感じます。これからも他職種連携が図れるよう、自ら動いて行きたいです。
- ・ **地域で暮すことの視点をぶらさないように。**と言われていたのが、今後の支えとなります。その人らしい暮らしの支援ができるよう、多職種とも顔の見える関係作りを大切に支援をしたいと思いました。また、リハビリスタッフの方とも、関係づくりを今後も行っていきたいと思います。
- ・ 認知症を通じて**顔の見える関係がまた広がりました。**  
(講師の先生方の笑顔に癒やされました)
- ・ リハビリの専門性や認知症の知識はしっかりと踏まえたくうえで、**その方らしくいれる雰囲気や環境づくりも含め見直していきたい**と感じました。

## 令和4年度医療職派遣事業学習会 地域リハ支援センター訪問相談事業 「小児の肢体不自由児に関わるリハビリ ～主体性を育む支援の在り方～」

日時：令和4年8月2日（火）13：30～15：30  
会場：京都府立与謝の海支援学校



支援学校の教員に向けて、丹後で小児に関わっているPT4名に実践報告を行っていただきました。



今後、小児リハ課題に向けた継続した事業展開を行う中で、今回の事業は丹後地域の小児リハに関わるネットワークが広がる足がかりとなりました。

### 障害のある子どもに関わる支援者と リハビリテーション専門職のネットワーク

令和4年度丹後圏地域リハビリテーション支援センター  
第2回事例検討会

#### 実践報告

「特別支援学校に通う学生の  
訪問リハビリテーション（仮）」  
丹後中央病院 理学療法士 川戸達氏

2022.12.1 Thu  
17:30-19:00

「特別支援学校での  
障害のある子どもへの支援（仮）」  
京都府立与謝の海支援学校 教諭 篠原勇氏

WEB開催（zoom使用）  
無料

※WEB環境のない方はご相談ください



申込み：2022.11.24必着

#### 編集後記

今年度初のうさぎのブランコの発行となりました。今年度こそは早く事業を始めようと計画をするものの、実施はどうしても遅くなってしまいます。今年度後半にかけてまだまだ事業を行いますのでぜひ皆様ご参加ください。研修会等のお知らせはこれまで通り書面で各事業所にお送りしますが、公式LINEでも広報する予定としておりますので、友達登録をよろしく願います。（Y.S）

編集/発行：丹後圏地域リハビリテーション支援センター（公益財団法人 丹後中央病院）  
連絡先：TEL0772-62-8301 FAX0772-62-8302 e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

「丹後地域リハ」で検索！

